

英語

同志社大学 全学部日程 [文系] (2 / 5 実施)

<全体分析>

試験時間

100 分

解答形式

選択式+記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

読解総合問題重視の出題。読解問題以外では長めの会話問題と英作文が出題されている。概ね昨年度を踏襲した形と言える。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	読解総合 (955 語)	「他人との比較」	空所補充, パラフレーズ, 空所補充型整序, 内容一致に加えて, 段落の小見出しを選ばせる問題が出題されている。A の空所補充は慣用表現の知識も問われているが, 文脈も無視してはならない。B は短めのパラフレーズ, C は長めのパラフレーズで, 下線部の解釈に加え, 文脈も考慮して答える。D の空所補充型整序は, 品詞・文構造と文脈に注意しつつ, 文法・語法の知識を駆使して解く。F の内容一致問題は, 筆者の立場・主張をつかむことはもちろん, いくつかの選択肢において細部の正確な読み取りも要求されている。	標準
[II]	読解総合 (829 語)	「牙を持たないゾウの増加」	大問 I と同じ空所補充, パラフレーズ, 空所補充型整序, 内容一致に加え, 下線部和訳が出題されている。A の空所補充, B の短めのパラフレーズ, C の長めのパラフレーズ, D の空所補充型整序, E の内容一致に関しては, 大問 I と留意すべき点は同じ。F の和訳問題は, 例年より短く, また平易であった。	標準
[III]	その他 英作文 (439 語)	会話問題	A の空所補充は 8 つの空所に対して一括した 10 の選択肢が与えられている。センテンスが丸ごと抜かれた形式で, 会話の流れを把握する力が問われている。B の英作文では, 会話文中の表現もヒントにする。	標準

注: 区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

読解総合問題の対策としては、まず語いの強化が不可欠である。さらに、構文をとりながら緻密に読む精読の訓練と、前後の論理関係の標識となるディスコースマーカーなどに着目しながら文脈を意識し論理的に読む訓練を並行して積んでいくこと。ある程度の速さで長い英文を正確に読む練習もしよう。文法・語法については単独での出題はないものの、読解や英作文問題の中でその力が求められるので、なるべく早い段階で一通りの知識と考え方を身につけておきたい。会話問題は、文脈が重視されているが、年度・日程によっては口語表現が多く出題されることもあるので基本的なものは覚えておく必要がある。